

小麦ワラは稲ワラ代替飼料として 和牛雌肥育牛に利用できる

和牛肥育では、良質な粗飼料として稲ワラが利用されていますが、稲作の早期化が進み、稲ワラ収集時期が台風や秋雨の影響を受けやすい状態にあります。このため、外国産稲ワラを購入している農家もありますが、口蹄疫等の発生により稲ワラが不足する農家も多く、稲ワラ及びその代替となる粗飼料を確保することが必要です。この解決策として、肥育牛にはほとんど給与されていない麦ワラ(サイレージ)の利用方法について検討しました。

☆ 技術の概要

1. 枝肉成績に大きな影響を与えるβ-カロテン含量は、乾燥麦ワラおよび麦ワラサイレージと乾燥稲ワラで差がありません。特に、麦ワラサイレージは収穫直後からβ-カロテン含量が低く肥育牛に給与できます(図1)。
2. 黒毛和種雌牛を用いて、乾燥麦ワラ・麦ワラサイレージを粗飼料とする豆腐粕TMRを肥育全期間(84週間)に給与する試験では、増体量、飼料摂取量等は稲ワラ・麦ワラ給与にかかわらずほぼ同じです。BMS、枝肉重量、ロース芯面積等の枝肉成績もほぼ同じです。
3. 黒毛和種雌牛を用いて、肥育後期(出荷前28週間)のみに乾燥麦ワラと濃厚飼料を分離給与する試験では、給与開始直後は麦ワラを嫌う傾向にあり、1週間程度稲わらとの混合給与が必要で、飼料摂取量は稲ワラ給与に比べやや少なくなりますが、増体量にはほとんど差がありません。BMS、枝肉重量、ロース芯面積等の枝肉成績もほぼ同じです。

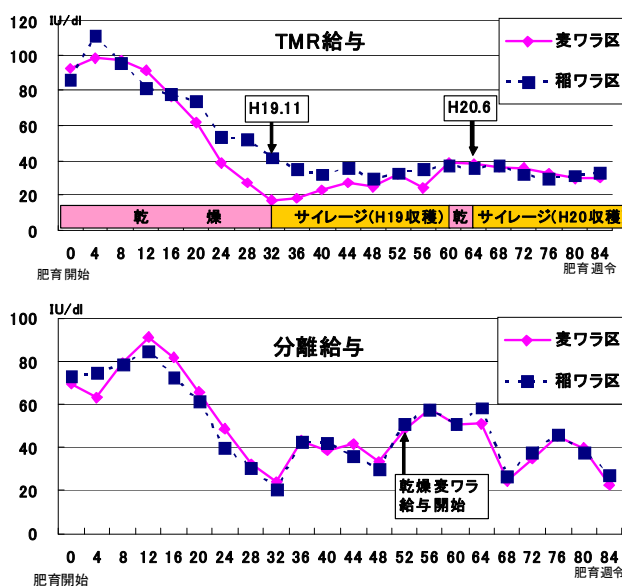


図1 小麦ワラ給与における血液中ビタミンA濃度の変化

サイレージ水分	H19 収穫分	58.5%	(n=17)
	H20 収穫分	40.3%	(n=6)

☆ 活用面での留意点

分離給与による肥育前期の麦ワラ給与については検証を行っていませんので、前期に給与する場合は採食性等の検討が必要です。また、給与開始直後は麦ワラを嫌う傾向にあり、稲わらとの混合給与が1週間程度必要になります。詳細は、三重県畜産研究所大家畜課森昌昭(TEL: 0598-42-2029)にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)